

6

若葉町3丁目第3緑地

基本方針

利用の方針 ◆市民と行政との協働のもと、雑木林らしい草花を楽しめ、利用者が快適に過ごせる環境を目指す。

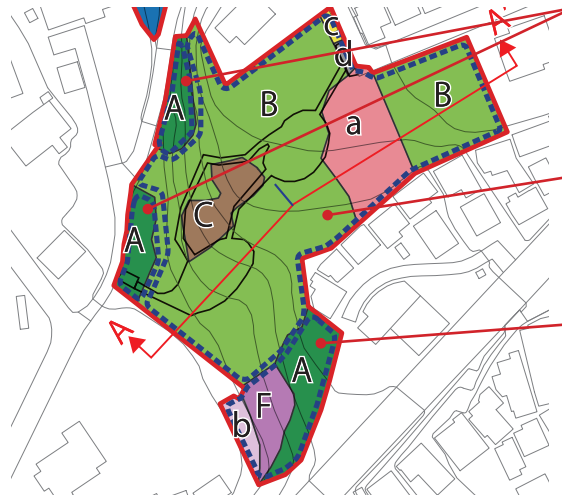
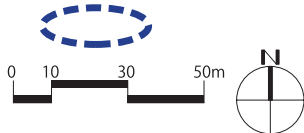
保全の方針 ◆夏、涼を求めて訪れるような里山的な森の保全を目指す。

1) 樹木の管理区分

<現存植生図凡例>

- 対象区域
- A 常緑樹高木林(シラカシ林)
- B 落葉樹高木林(クヌギ・コナラ林など)
- C スギ・ヒノキ植林
- D モウソウチク・マダケ林
- E 常緑樹中木林(マテバシイ中木林)
- F 先駆性低木林(アカメガシワなど)
- G アズマネザサ群落
- a 草地(メヒシバ・アキノエノコロ群など)
- b ヨウシュヤマゴボウ群落
- c 植栽地(花壇など)
- d 裸地
- e 住宅地

<エリア区分凡例>



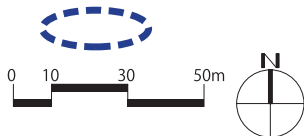
- <樹木エリア-1>
[現況] 常緑樹中心。北側の尾根直下には、崩壊跡の崖地がみられる。
↓
[計画]-作業内容-
②常緑樹の管理
③低木の整理
- <樹木エリア-2>
[現況] 落葉樹中心。一部針葉樹がある。
↓
[計画]-作業内容-
⑥高木の間伐
④不良木の伐採、不良枝の剪定
- <樹木エリア-3>
[現況]・東側の境界隣接の赤道に沿って急な傾斜地がある。土壌は安定せず林床に植被が少ない。
↓
[計画]-作業内容-
②常緑樹の管理
③低木の整理

2) 草本類の管理区分

<林床植生図凡例>

- 対象区域
- A アズマネザサ型
- B 常緑低木・草本型
- C 常緑低木・無型
- D 落葉低木・草本型
- E 先駆性低木型
- F 草本型
- G 無型(落葉の堆積または裸地)
- H モウソウチク型
- I 人工裸地

<エリア区分凡例>



- <草本エリア-1>
[現況] 場所によっては林床にササや下草が繁茂
↓
[計画]-作業内容-
①下草刈り
- <草本エリア-2>
[現況] 林床は明るい散策路に沿って、地表面は踏み固められて植被は少ない。場所によっては林床にササや下草が繁茂し、落ち葉が堆積している。
↓
[計画]-作業内容-
①下草刈り
⑤落ち葉かき
- <草本エリア-3>
[現況] 場所によっては林床にササや下草が繁茂
↓
[計画]-作業内容-
①下草刈り
- <草本エリア-4>
[現況]・場所によっては林床にササや下草が繁茂し、落ち葉が堆積している。
↓
[計画]-作業内容-
⑤落ち葉かき

3) 作業内容

- 里山的な環境をめざし大きく成長して樹木を覆ってしまうツルや大型草本、中低木類を整理し林縁に適した低木を残すとともに、林床に十分な光が届くようにする。
 - 安全確保のため、衰退木、不良枝は原則として伐採する。
 - 林内への人の立ち入りを抑制し、林床や希少な野草を保護するため必要に応じて柵等を設置する。
-
- ①下草刈り
◆草本やササ類を地際10cm程度で刈り取る。(刈り高を確保することで冬季の地表面の緑被が確保される)
◆草刈り作業は、夏と冬に行う。(夏はササを抑え、冬は早春の植物の生育を促進する)
◆刈り取った草はその都度除去する。
- ②常緑樹の管理
◆中高木の一部を伐採し萌芽更新を促進させる。

- ◆低木は残す。(風を遮断し、林内の環境を一定に保つため)
- ③低木の整理
- ◆植被率が高く見通しや歩行の障害となる落葉樹は、適宜間伐搬出し林床に光が届くようにする。
- ④不良木の伐採・不良枝の剪定
- ◆周辺環境へ影響を与える支障木は、その対応を調布市と協議の上、枝下ろしや伐採のうち危険が伴うものは調布市が行う。
- ◆間伐は冬季に行う。(高木の若返りを進めるため)
- ⑤落ち葉かき
- ◆堆積している落ち葉は取り除く。(林床植物の発芽の妨げとなる)
- ⑥高木の間伐
- ◆高木が混み合っている場合は、林床に十分な光が届くよう、その対応を調布市と協議の上、調布市で段階的に適宜間伐を行う。

